

あんしん電話導入を

松戸市内の58町会が導入している高齢者安否確認システム「あんしん電話」を広く利用してもらおうと、普及に取り組んでいる民間団体「松戸あんしん電話地域見守り協議会」(斎藤正史会長)が、無料電話相談「松戸あんしん電話ほっとライン」をスタートさせた。市内在住の1人暮らしの高齢者や市内外の町会・自治会を対象に、加入や導入方法などの相談に応じる。

医療機関と連携

高齢者の健康見守り

コンから週1回、登録者宅に健康状態を尋ねる電話が自動発信され、登録者は、健康状態が「異常なし」なら1▽「ちょっと心配」なら2▽「すぐ連絡を」なら3―を押して応答する。応答内容は医療機関のパソコンに表示され、「すぐ連絡を」の場合は医療機関から連絡を受けた各町会・自治会のボランティアらが安否確認などをする。

同市常盤平の「どうたれ内科診療所」の堂垂伸治院長が2007年、約70人の通院患者との連絡のため、

松戸市内58町会400人登録

工学院大学の菅村昇教授と共同開発。11年3月に同市の幸谷町会と新松戸東町会が地元診療所と提携して本格運用を始めた。協議会によると、現在は市内の診療

**無料電話で
気軽に相談**

工學院大学の菅村昇教授と共同開発。11年3月に同市の幸谷町会と新松戸東町会が地元診療所と提携して本格運用を始めた。協議会によると、現在は市内の診療所など7カ所がシステムを設置し、58町会の約400人が登録している。一方で市内には約400町会があり、導入検討中の49町会を加えても利用は全町会の4分の1程度にとどまる。ほととライン開設は、より多くの町会の導入を促す狙いがある。

無料相談電話は0120・386・117。松戸市のほか、柏市、市川市、船橋市など(電話番号が0471、0473、0474で始まる地域)の固定電話【橋口正】

ほんている町で、自分たちの手で、豊かな高齢社会を築くために、地域をつなぎ、つながりを結ぶ…あんしん電話の仕組みを提案します。

市民で創る、セーフティネット

あんしん電話

松戸あんしん電話地域見守り協議会

あんしん電話ほっとラインをスタートさせた地域見守り協議会が作製したパンフレット